

学校教育目標	「自分の良さを発揮し 友だちと力を合わせ 学校や地域のために自分から行動する子」 ○言葉を通じて伝えあい、よりよい答えを導く子 (知) ○礼儀や規律を大切にし、自他を尊重し合って行動する子 (徳) ○自他の生命を大切にし、心身健やかに生きる子 (体) ○学校やまちを愛し、学校や地域のために自分から行動する子 (公) ○広く世界を見つめ、社会のために貢献する子 (開)				
	創立 39 周年	学校長 堀口 直明	副校長 栗原 憲一	2 学期制	一般学級: 13 個別支援学級: 2
学校概要	児童生徒数: 385 人 主な関係校: あざみ野中・すすき野中ブロック(計7校)				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	〇〇中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<言語能力> <協同して課題解決する力> <自分づくりに関する力>	すすき野中学校 荇子田小学校 嶮山小学校	自分らしく、共に生き、社会に貢献する子 自分らしく、共に生き、未来を切り拓く子 小中学校間で学習指導や生活指導の円滑な接続を重視するとともに、児童・生徒間の交流や小中教職員の交流を積極的に図ることによって、子どもたちに必要な資質・能力を育てる。

中期取組目標	<p>○わかる授業、考えを深める授業をし、お互いを思いやる学校をつくります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語能力を高め、各教科等を通じて伝えあう活動を重視することで、学力を向上します。 ・道徳学習や特別活動、児童指導の充実を図り、子どもが自尊感情を高め楽しく学校生活が送れるようにします。 ・教職員が子どもたちの様子をしっかりと見、人間関係のトラブルの早期発見をし、落ち着いた生活環境を整えます。 ・「人」とのつながりを意識し、豊かな体験を通して、学校や地域を愛する心を育てます。
---------------	---

重点取組分野	具体的取組
知 生きてはたらく知	①学習指導要領の基本的なねらいを意識し、「主体的・対話的で深い学び」をめざす。②教科担当制や取り出し学習を取り入れるとともに、教材研究の時間を確保しながら授業の質を高め、子どもの資質・能力の向上をめざす。③GIGAスクール構想をいかし、学習を主体的に進める。
徳 豊かな心	①道徳の時間の充実、豊かな体験を通して、相手を思いやる心や社会に役立つ行動をする姿勢を育てる。②人権週間の取り組み等で、人権を尊重する心を育てる。③集団生活での自分の役割を理解し、最後まで確実に行うようことの大切さや心地よさを体感し、社会に役立つ行動への姿勢を育む。
体 健やかな体	①全校体育朝会でのマラソンや短縄への取り組みで、継続的な体力づくりを行い、体力を向上する。②家庭と連携して基本的な生活習慣の定着を図るとともに、教科・特別活動・食育など、さまざまな角度から、健康管理・食生活の充実を基盤とした体力の向上を図る。
公開 児童生徒指導	①全職員が学校のきまり「荇子田のこれはゼツタイ」を共有して指導に当たり、あいさつや礼儀、整理整頓など教職員から率先して見本となり、落ち着いて生活できるようにする。②児童支援専任教諭を中心に、全職員で密な連絡や情報の共有化をはかることで、いじめの防止・早期発見に努める。
いじめへの対応	①毎月いじめ防止対策委員会を実施し、認知された案件の経過確認を丁寧に行い、再発防止に努める。②研修を計画的に実施し、全教職員のいじめに対するアンテナを高くするとともに、年2回の児童アンケートにより些細な変化を見逃さない体制づくりをする。
人材育成・組織運営(働き方)	①校内研修を活用し、互いに高め合える職場づくりを進め、日々の実践的な取組を通して授業力・指導力を高める。②学年研究会を中心に職員間の連絡を密に取りチーム力を高める。③グループウェアなどICTを活用したり、民間企業等と協働したりして学校運営の見直しを図り働き方改革をすすめる。
特別支援教育	①交流級を含む一般学級と個別支援学級の連携を密にするとともに、保護者や関係機関と連携を図り、個別の指導計画に基づいた支援を行う。②個別支援学級の環境整備を全職員で行い、ユニバーサルデザイン教育について理解する。
地域連携	①児童や保護者、教職員が地域の行事に積極的に参加するとともに、保護者・地域のサポートを生かしたり、学校行事等に参加していただいたりすることで、開かれた学校づくりに努める。②「学校運営協議会」の機能を活用し、学校教育の充実を図る。
担当	
担当	
担当	